



# わたしたちのまちでおこった<sup>すいがい</sup>水害をしらべよう



この写真は、<sup>しゃしん</sup>牧之原市内で<sup>まきのほらしな</sup>浸水被害<sup>しんすいひがい</sup>がおこったときと、<sup>おな</sup>同じ場所の<sup>ぼしよ</sup>ふだん<sup>しんすい</sup>のようす、<sup>ばあい</sup>あるいは、<sup>しんすい</sup>浸水<sup>ばあい</sup>していない場合<sup>しんすい</sup>のようすです。



牧之原市提供

<sup>こうずい</sup>洪水<sup>しんすい</sup>がおこったとき



牧之原市提供

<sup>しんすい</sup>浸水<sup>ばあい</sup>していない場合

1. <sup>しんすい</sup>まちが浸水<sup>しゃしん</sup>するとどのようになるか、<sup>かんが</sup>写真<sup>かんが</sup>をみて考<sup>かんが</sup>えてみましょう

<sup>みず</sup>水<sup>にご</sup>が濁<sup>み</sup>っていて、  
いつもと違<sup>ちが</sup>って見<sup>み</sup>えるね



2. <sup>ちか</sup>わたしたちのまち<sup>こうずい</sup>や近く<sup>しんすいひがい</sup>でおこった洪水<sup>しんすい</sup>や浸水<sup>しんすい</sup>被害<sup>しんすい</sup>について調<sup>しら</sup>べてみましょう。

<sup>かぞく</sup>家族<sup>き</sup>に聞<sup>き</sup>いたり、  
<sup>やくば</sup>役場<sup>しら</sup>で調<sup>しら</sup>べることも  
できるよ



# 教員用

このワークシートは、  
4年生の社会科「自然災害から人々を守る活動」、5年生の社会科「我が国の国土の自然環境と国民生活」の「導入・学習問題をつくる段階」などにおいて、  
身近な地域の自然災害(主に洪水や浸水被害)の被害の様子をイメージしたり、調べたりする際に活用することを想定しています。

## 【学習目的(例)】

- ・過去に身近な地域で発生した水害の写真を見ることで、自分達の住むまちやその近くでも水害が発生する可能性があることに気づく
- ・平常時と浸水したときの写真を見比べ、水害によって道路や家がどのようになるかを観察し、表現する

ワークシート

記載例

### わたしたちのまちでおこった水害をしらべよう

この写真は、牧之原市内で浸水被害がおこったときと、同じ場所のふだんのような、あるいは、浸水していない場合のようすです。



洪水がおこったとき

浸水していない場合

1. まちが浸水するとどのようになるか、写真を見て考えてみましょう

- ・水がにごっていて、どこが道路かわからない
- ・家や車が水ぼつして、つかえない
- ・車が走れなくなる
- ・おぼれるかもしれない
- ・学校や仕事にいけなくなる

水が濁っていて、いつもと違って見えるね

2. わたしたちのまちや近くでおこった洪水や浸水被害について調べてみましょう。

- ・いつ、どこで起こったか
- ・何軒くらい家が浸水したか
- ・住民はどんな行動をしたか(避難所に行った)
- ・学校はどんな状況になったか(避難所になって、授業ができなくなった)
- ・役所はどんなことをしたか(避難指示をだした、被害の調査、家を直すための支援をした)

家族に聞いたり、役場で調べることもできるよ

制作：静岡地域・志太榛原地域大規模氾濫減災協議会

記載例の内容は、授業内での発問への回答例、あるいは、家庭・自主学習とする場合のヒントとしても活用いただけます。  
また、写真のみを活用したい場合は、静岡河川事務所防災教育ポータルサイト  
(<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/gensai/torikumi/school/portal/index.html>)の、学校教育教材>小学生向け教材 2時間授業 ver ⑥写真パネル でダウンロードいただけます。